

第13回（仮称）大口町町民参加条例策定会議 会議録要旨

日 時：平成21年1月14日（水）午後1時30分～3時00分

場 所：大口町役場 2階 第1会議室

■ 開会

[職務代理者あいさつ]

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨日、今ご説明があったようなお話を聞いて、資料をFAXで送るということだったんですが、ちょっとぐらいはどうすべきかということで、主幹からいろいろと経緯、その他関連のことをお聞きしました。そういうことで、特に準備するものはありませんが、やっぱり席が一つ離れていますと外野席みたいなもので、「言いたい放題言えればいいことかな」、そういう考えはいったん全部置いて、進め方としては本音に近い形で私なりに進行していければと思います。ということで、ご挨拶というよりも、今日お願いしたいことは、ここへ集まると、「実際はこういうことなの」、あるいは、「本当の話はこういうことじゃないの」ということでけっこうですので、形だけ進んでいくということは私の主義ではありませんし、こういう委員に選ばれたら、私はやっぱり当事者意識を持つということです。ずっとやって参りましたけれど、今でもそういうつもりでおりますので、少しでも住民のためになるように、みんなのためになるようにということ、それから自分自身の成長のためということも含めて、忌憚なく感想じゃなく、意見、できれば提案ということになるんですが、ずっとこれを、昨日の夜から今朝にかけて、始めから見直してみますと、何か我々が感想を求められることが多いです。実際に皆さん、住民の懇談会でこういうことを言っておられる、これはどういうことを言っているのだろうという委員同士でそういうことをあんまり深めたことはありません。だから、経過という形でずらっときちやっていますから、ひょっとしたら、我々は大事な問題を見過ごしているかもしれません。今日は一つ、何かやったなというような気持ちでお互い帰ることができるように、進めて参りたいと思います。よろしく願いいたします。

[町長あいさつ]

改めまして、皆さん明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いしたいとこういうふうに思っております。大変な社会の状況でありまして、アメリカに端を発しました世界同時不況、こういう形でかなり緊急な状態にあるというふうに思っております。昨年の末でありますけれど、これへの対応ということで、議会の皆さんとご協議をいただき、相談をし、生活支援あるいは雇用対策ということで、大口町緊急対策を講じたわけでありまして。本年の1月7日に予算を措置して、臨時議会をお願いしました約633万9千円。そういう補正を出していただきました。緊急対策として町の臨時雇用をしていこうということ、あるいは、手に職をつけていこうということ、ホームヘルパーの講習会を18回、30名行っていこうとか、それから住宅手当をしていこうと、こういうことでありまして、国の職業安定のための貸出枠があるわけですが、これの保証を町の方でしていこうと、あるいは6ヵ月にわたる金利に対して町の方で補てんをしていこうと、こんなことをいただきました。海外では、大統領がいよいよ替わられる。ブッシュさんからオバマさんに替わっていく。今、日本中の期待が大統領の交替に一斉に注目をしている。こういうことでありま

す。時代が大きく変わっていくんだなと、そういうことを意識するわけでありませうけれども、昨日、今日、議会の議長さん、副議長さんと話をしまして、12月議会の一般質問の折から、雰囲気が大きく変わってまいりました。この住民参加条例に対しても、意識が変わってきたな、こういうふうに思っておりますし、活動支援センターについても、大きく変化してきたかな、状況は少し和らいできたかと、こういうふうに思っておりますし、ひょっとしたらこれは3月にも通るんじゃないかなと、このように思っております。社会の状況あるいは、自分の置かれた位置、環境等によって意識というものは変わってくるんだなということを痛感している昨今であります。大口町の状況もいきなりこんな状況になるのかと考えましたけれども。バブルの崩壊は、平成3年と言われるわけでありませうけれども、大口町の町民法人税の一番ボトムになった時は平成7年であります。バブルの崩壊から、5年も経ってこの地域に影響を及ぼしてきた。この影響額、不良債権というものが、その当時合計しますと50兆円と、こういうことを言われておりますし、今、リーマンブラザーズが去年の9月15日に破たんをして、不良債権が64兆円と言われているわけでありませう。銀行1社の破たんとは日本のバブルの時の破たんとは大分意味合いが違うな、そして影響についても、経済がおかしくなったと言われてから一年で影響が出てきた。倒産、破たんが起きてきた。それによって、この地域の影響が、即その年にも現れてきた。こういうことでもありますので、日本国内のバブル崩壊と全米を対象とした今回の経済の破たんとは大分違うのではないかと。今、先が見えない状況にあるので、こういったことも考えていくと、まだまだ厳しい状況にあるのかなと思っております。来年度の税収入の額は、大口町においては、4億5千万ぐらいとこういうふうに見られておりますので、一番ボトムであった7億をはるかに下回ってくると、そのため、財政調整基金を5年ぐらいで切ったら、25億ぐらい貯めておけばいいんじゃないのか。今20億前後ありますので、当面大丈夫だといふ先日、議会の前でも豪語していたわけでありませうけれども、それをさらに上回る大変な状況がきたんだと。こういうふうになってきますと、行政の力だけではやれないということを絶えず言ってきたんですが、「大口町は財政豊かだから」こういうことについて、もう変わらざるを得ない状況に今あると、こういうことでもありますし、私どももこういうことに備えてきたつもりはないんですけれども、もう少し先のことだろうと思いつつやってきましたけれども、これは、財源あるいは権限あるいは物によって、町政を賄っていくという時代から、人間力によって、地域の元気、活性化をしていかなければ何もできないような状況に自然にこういう状況へ来てしまったなと思っておりますし、議員さんからも、「町長が言われるような時代が来ちゃったね」、こういうことを向こうから言われるような状況に入ってきたと、こういうふうに思っております。そういうことは決して嬉しいことではありませんし、こういう状況に備えてきたという部分もありますけれども、もっと政策的な地方分権とか、道州制とか、そういうものを睨みながら、我々はまちづくりをやってきたつもりですけど、それが今こういう形の時に備えたという形になったのは不本意ではありませうけれども、大至急こういう体制を町民の皆さんと連携を取りながら、これからの町政を運営していく、そういう時代が来てしまった、こういう所があります。新年早々こんな暗い話でありませうけれども、いよいよ策定委員会のお力をお借りしながら、協力をいただきながら、これからのまちづくりをやっていく。そういうときがきたなと、こういうことを実感している今日この頃であります。本日もよろしくお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

【議 題 1】 町民参加条例プレフォーラムについて

職務代理者

町長からお話がありましたが、一つひとつが心に響くといいますか、でもまあ町長ご心配なく。ここのメンバーは、危機感の共有ということでもかなり覚悟してやってこられた人が多いので。

では議題に入りますが、1番に「町民参加条例プレフォーラムについて」ということになっております。議事録によりますと、町民活動プレセンターオープンイベントというものに参加するということから、町民参加条例プレフォーラムという題目がかかっております。ですから、そういう意味合いにおいて、この策定委員会のメンバーは非常に関連が深まってきたと思いますので、そして幸いにも、今度のイベントのプログラムを見ておりますと、メンバーをこの委員の関連を拾いますと、先生はもちろん、委員といろいろ関連がございますので、そういう意味でいろいろな意見をいただきながら、ご説明をいただいて、ご意見をいただきながら、やっぱり今のようなお話で、ますます関連するという状況にありますので、ぜひとも名前はともかくとして、プレフォーラムという価値あるものにしておかないといけないという重大責務が、今町長から我々に発せられたわけがありますので、そういうことを念頭に置きながら進めてまいりたいと思います。それでは、このフォーラムについては事務局から説明をよろしくお願いします。

委員

まかせてネットは、委員が副委員長をやっていますので。

職務代理者

見落としていたようで申し訳ありません。関係がある方が非常に多い。そういうことですから余計丁寧にやって参りたいと思います。町長もお見えですから、やはり知っておいていただきたいと思っています。

主幹

※資料1「町民参加条例プレフォーラム プログラム案」に基づき説明

スライドプレゼンテーションの部分については、委員から補足説明をお願いします。

委員

加子母村という所は、岐阜県の下呂に近いぐらいのかなりの山村ですので、大口町とは立地条件も町の状況も違うところではありますが、しかし、まちづくりをみんなで心を通わせながらやるという意味では共通するのではないかと思いますので、条件の違いはさておいて、各分野のリーダーの皆さんから、自分一人がお山の大将的にワンマン的にやるのではなくて、それぞれの分野のリーダーとつながりながら、この加子母村全体がどうやったら良くなっていくのかということを非常に真摯に取り組んでいらっしゃる。その心意気みたいなところを、ごくごく簡単に写真を交えながら、ご紹介をして、いわゆる前振りといいますか、少し前段の話ということを見せていただきたいと思っています。それで、このプレフォーラム自体が、前回お話したと思うんですが、なかなか一般の方に条例とか、自治とか町民参加という言葉で伝えても伝わりにくいものがあると思いますので、少しでも柔らかい雰囲気、特にこの条例云々の前に既に汗をかいている方から、実践をしている人の動きを全面に出した方が、伝わりやすいかなというふうに思いまして、そういう雰囲気づくりも心がけながら、進行させていただきたいと、こんなふうに思っています。

主幹

以上で、プレフォーラムのプログラムの説明を終わります。

職務代理者

今お聞きになったような心意気でやられるということですが、先ほどもご紹介があったように、プレイベントの実行委員会の方がお見えになります。ですからいかに効果的にこのイベントを進めるかということは、ものすごく心配な面もありますが、まかせてネットの方々も、これまでにかなりすり合わせがしてあったり、心配なことがあると、しかし何とかかなりそうだとか、そういう持つておられるものを少し紹介していただくとよろしいんじゃないでしょうか。スケジュールとしては、これぐらいのものですけれど、そこら辺をお話していただくと、我々も協力しやすいです。私自身もプログラムを見て、スタッフ 12 時集合と書いてあるので、スタッフだと思ったわけですが。いやそうじゃないと。1時からいらっしゃいとかいうこと。たぶん観衆を 4~5 人連れていけばいいんだなという感じがしましたけれど。問題はイベントそのものですから。

委員

もともと、「町民活動センターをつくりたい」「場所が欲しい」ということで、そういった流れでやるんですが、その中にこの住民参加条例ですね、これを一緒にどういったって関連があるわけですから、一緒にやりましょうという声を私どもから、こちらの事務局に声かけをしたという経緯がありますので、それがそういう形になって、私どもまかせてネットとはどういうものかということ、皆さん聞きなれないと思いますが、1月の広報に、今 30 の町の NPO 団体がある。その他にまちづくり団体が 6 つあると。具体的に名前とどうしているかというものを1月の広報に載せていただいたんですが。その中の 30 団体及び 6 の団体の中から、活動センターを有効に使っているいろいろな形で自立と共助のまちづくりになるような活動センターをつくりたいという有志の方、グループの代表者やメンバーの方が集まってできたのが、「町民活動まかせてネット」ということで、30 番目の NPO 団体として、やっと登録が終わって活動していると。それで委員が副委員長をしていただいているし、私はその事務局をしているんですが。そういうことで、行政と一緒にやっていくということ、区政の問題、区長さんにも参加していただけるし、それから議員さんも参加していただけると。そういう形では本当に良い形になったなと、そういう思いで一昨日も夜遅くまで具体的な内容を詰めて準備をしたところです。

委員

まかせて広場のオープニングイベントをするもとの一番大きな目的というのは、活動センターができるというイメージだということを伝えたい、私たちが場所を使えるのは、スペース的にはそんなに広くない場所を今回プレセンターとするんですけど、私たちがしてるものは、活動センターとして、もっといろんなことができる場所をつくっていききたい。それは今すぐにできないというのが、現状なので。とりあえず、オープニングイベントとして、今私たちができる一番活動センターに近いものを一日やろうという話の発端から始まり、こういうイベントをするのでぜひいつもの活動を発表されるとか、皆さんに相談したいということがあればぜひ参加をしてくださいということで、30 団体の皆さんに通知を出して、参加していただける団体さんには参加していただき、もちろん関わっていただいている方は、自分の団体の紹介をしながら、という形で今回オープニン

イベントをやらせていただくので、本当にいろんな団体さんが、パネル展示をする団体さんから、実際、まみーぼけっとは、ふらっとルームを南児童センターでやらせてもらっているものを、ちょっとそちらにその日は持って行って発表させていただいたりとか、いろんな団体さんが、自分たちの活動をそこでいろんな形で発表します。ぜひ、10時からやっていますので、12時、1時と言わずに、10時から来てください。

職務代理者

2階でやるというイベントですか。

委員

セレモニーは2階でやるんですけど。

委員

10時から式典をやるんです。ご挨拶をしていただいて、それは2階のホールで10時からやりますので。朝市の皆さんにも応援していただいて、小型の朝市をお願いします。

委員

お祭りみたいな感じで、とんぼ玉をつくる場所があったりとか、禁煙メタボ調査を笑顔21さんがやられたりとか、本当にいろんな分野の方が、いろんな活動をそこで発表したりとか、その場でやられるもので。ゆっくり楽しんでいただけるかと思うんですけど。

委員

ぜひ午前中から。食事も有料ですけど、何種類か。パン屋「なかよしこよし」さんもありますし。

職務代理者

今度は、委員が司会をされてやるこれとの刷り合わせといたしますか。どういうふうにやっているのかというのが。できるだけ、1日の10時から始まり4時に終わるという一連の塊ですので、そこから辺まだ半月ほど時間がありますので、しっかりと固めて、まだ変わるとは思いますけれど、今まで別々だったものが一緒になっていますから。

参事

12月1日の策定会議の席で、こういう催しがあって、参加したらどうだという話があって、策定会議の方で決定したことなんですけれど。考え方としては、イベント自体が町民活動センターのプレ的なもののオープンに合わせてそのイベントを行うということだと思ってしまうんですけど、それをハードな部分だとすれば、条例は町民活動のソフトの部分だということで、そういう関連があるということで参加をして、なかなか条例についての意義というのが十分理解されていない部分があると思うので、こういった機会を通じて、少しでも方法を変えた形で理解をしてもらえればということでこの委員会で決定をしたので、それに合わせた催しというか、事業の具体化を報告させていただいたということです。

職務代理者

先ほど町長が言われたように、方向としては両方ともが良い方向に向かいつつあるための合体であるということですから、そこら辺を改めて策定委員会としては、確認をしておくという意味合いで申し上げました。

委員

私どもは、まかせてネットとして、昨日、町長の所へお願いに行きましたし、それから議会の方へも事務局とそれから議長さんにお会いして、できるだけご出席いただくようお願いしました。この策定委員会からも区長さんにはご案内を出すと言われましたけれど、議会にもこれに参加してほしいというのは、お出しになるんですよね。

参事

これ自体というよりも、こういうものがあるということは全協でも報告されますので、それに合わせてこういうこともやりますという報告はできると思いますけれど。

町長

今日、その件は、議長さん、副議長さんに話してきました。策定委員会がここでやりますので、また一つ協力してくださいという話を。

委員

ぜひ、私どもの方も来ていただきたいし、4階のホールの方も来ていただきたいですね。

職務代理者

特に実行委員会というのは、そういうことで八方手をつくしておかないといけないんじゃないかと思っていて、いろいろなことを言いますが。

主幹

これに合わせて案内を出させていただきます。

職務代理者

これをやるというのは、皆さんご承知で、前回決まっておりますし。そして唯一名前の主体が変わりますが、そういうことに対して体制を固めていくというのが今日の結論という気がします。そうでないと、バラバラとばらけるといけませんので。

委員

皆さん、エコキャンドルとか、とんぼ玉とかっていう魅力があって、そこに行くんですね。ただ、この「参加のまちづくりの話」というのはどうしても固い話になるもんですから、せっかくそのホールには来ているんですけども、この会場に来てくれる何かの魅力があると良いかなあと思ったりもするんですけど。どうしても固いお話ですので、そこだけにはなかなか放送を掛けても集まっていただけないと、やっぱり子どもさん連れではどうなのかなと思ったりもしますし。

委員

ロビーを含めて周りに和室とかありますよね。それでこういうことをやるわけですよね。一番大きい部屋がここですから。その辺に皆さんいっぱい集まっていच्छるので、それをいかにこのホールの方に入っていただくか。その辺は知恵を絞らないといけないところでしょうね。

町長

フォーラムの方のメンバーというか、活動支援センターの方のメンバーの方々が条例に対してのご理解があるかどうか少し心配なところがありますけれど、30 団体に入っている方たちが、活動支援センターをつくるということは理解されているけれど、住民の参加条例に対してのご理解が、協働してやっているかどうかですよね。

委員

30 団体といっても広範囲わたっていますよね。それはなかなか、少なくともネットの代表のメンバーの方は、まず理解をしていただいているというふうに思っていますけれど、30 団体の内、18 団体は必ずしもご理解をグループとしてなされていないという団体もいらっしゃると思います。それは間違いないです。

委員

「これがきっかけになったらいいのに」というのは、先日、事務局の方に、夜のまかせてネットの会議に来ていただいて、一緒にお話をさせていただいて、やっぱり顔を合わせてお話をしないとなかなか理解って、紙を見るだけではできないところがあるので、何かイベントの時に何か関わりがあって、少しずつ理解していけたらいいなというところは感じます。この間会議をやっていても、そこに来ている皆さんがきちんと理解されているかという、やはり関心がある方と、「そんな条例なんだ」と、「条例ね、自分に関係ないけど」と思っている方がいないわけではないなということは、その時の会議の雰囲気というものは。

委員

私はたまたま両方に参加させていただいているというか、やっていますので、4 階ではソフトな催しをやっておいただくことによって、何となく、私も 30 団体の方に参加依頼、案内状を出していますし、そういう形で、逆にこういう機会に理解をしていただきたいというふうに。一部そういうことが可能だなと。

職務代理者

今、町長が率直におっしゃったのは、今日の資料の中にあるんであって。グループインタビュー、私もここは真赤に塗ってありますけれど、グループインタビューの中に、まかせてネット、まみーぽけっとの 8 人ではありますけれど、ただの感想ではなくて、意見を持たれた方がここに参加していると思うこのグループのこれを 2 頁を読みますと、今まで我々がやってまいりました地区懇談会や議員懇談会、あるいは我々自身が感じとって、お腹がふくれないなあと感じているようなことはここで言われているわけです。ここら辺を、刷り合わせてと言いましたけれど、単なる単語ではなくて、このグループの中でも、私たちはこういうことをやっていると思っているんだよということ

を深めていただくとか、そういうことではこれを読みましょうか。「言葉も難しく、多く、読みたくないと思う」この条例骨子・構成案。「しかし活動の過程で、何かしら思うときや壁にぶつかったときなど、立ち戻れるものとして、この条例があれば良いと思う」「分かりにくい。これを読んでも本当に良いものかどうか正直分からない」「表現が難しすぎる」これが私は抵抗があるんですけど。そして皆さん様々なことを言われておまして、次のページにいきますと、「住民に対して、条例の中身の理解を求めるのは、もう十分」だと、もっと言えばあきあきしている。「本当に大事なことは、この条例ができてから、どうするんだ」ということ。地区懇を2回もやられたけれども、もう十分に意見を聞いたると、何度やっても同じことですよ、という意見もある。それから実際の問題。こういう具体的な場面に遭遇した場合は、提案しても話し合いにつながらない状態が変えられない。やっぱり対等ではなくて上下の関係だと。だから、「お伺いします係」を機構改革でつくったらとか。こういうこともあるわけですけど、我々が聞いて、地区懇談会でもいろいろと聞いてきました。そこから、やっぱり問題でないことかもしれないし、問題であるかもしれないことを深めていく時間も余り多くなかったという反省がこの2頁の紙からもうかがえます。では、これからフォーラムに向けて、どういうふうにしていこうかというのが、実際は臨時の会合を設けても、策定委員会でやるのか、それはフォーラム委員会でやるのか、やっぱり進めなければ何回やっても同じことを言われそうな感じがします。ここにもう現れていますね。町長のご質問の内容が。こういうことを言った人を我々は変な人と言ってはいけないわけです。これは本当のことですから。懇談会をやったり、いろいろやっている間で、根本的なのは住民と行政、執行機関との溝。ディープリバーをどうしていくかという課題について論議したかということ、ああそうでもないというのが私の気持ちでしたけれど。我々策定委員会の委員とは、どういう立場だということまで私なんかは言うてしまうわけですけど。ちょうど町長からご指摘がありましたので。そういう時間がまだ2週間あると先ほど申し上げたのはそういうことです。ふれあいまつりの続きではいけないんです。そういうことを思いましたが、これは余分なことだとお聞きください。事務局としては資料を整えていただき、やることはやっていたいでいるわけですけど。事務局の方からお話はありますか。

参事

2月1日のプレフォーラムの参加につきまして、なるべく、いろんな方が参加していただけるよう皆さん誘っていただいて、一人5人程連れてきてくださるとありがたいかなと。こういう人には知っておいてほしいなという人がいましたら。

職務代理者

そういうことで、10時からセレモニーとイベントと併せてあって、そして午後からこれにつながっていくというのがありますので、一つよろしくをお願いします。

参事

委員の方の参加と、プラスα5人ぐらいずつお願いします。

職務代理者

皆さんもよろしいですか、こういうことで。ただやっぱり問題は、今日の資料だけでも深みがありますね。いかにやわらかくソフトにと言っている、やっぱり通す筋道は通すというような、我々策定委員とか、フォーラムの面々が、委員たちが持つておられる必要があるなというのは、今日の結論じゃありませんけれど。よろしいですか。

〔議 題 2〕 前文案について

それでは、前文案に入らせていただきます。これについてはいろいろございますが、先生の奥深い先を見通すそういうお考え自体も、それにかわることもできませんので、前回の策定会議で決められて、前文案というのが、委員がつくられ、参事がつくられたのがここに出ております。先ほどの1番にも関係があるんですけど、やっぱり我々、条例策定委員会としては、こういう間取りがいいぞというところまではいって、かなり良い間取りができたなと思っているんですが、私が前文・前文と一人だけ浮かれて言っておりましたけれど、危機感の共有とか、いろんなことを言って参りましたけれど、やっぱり建前も済んでいない状況で、何がプレイベントだというのが、率直に最初にした話でして、これからやっぱりしっかりとした仮組をして、そして、これだというものを早くつくって、3月までとおっしゃっていますから、もう時間があんまりないんですよ。それを構成する非常に重要な前文です。今までの、栄養になってどこかに入っているとして、これで2案出て参りましたので、気持ちだとか、こういうことだということをご説明をしていただいて、我々が賛同していく、何か付け足したいものがあれば言うていく形で、この前文については先生がどう判断されるか分かりませんので、今日はまずその理解に努めたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。よろしいでしょうか。

主幹

先生からファックスが届いた内容を紹介させていただきます。前文については、策定会議の前に事前に検討する機会を持ちたいと考えていたのですが、このような事態になり準備ができませんでした。プレフォーラムにはなんとしてでも必ず行くつもりです。その折か、その後、次回の策定会議までに、委員長としては内容の方をまとめたい、考えたいというふうにファックスが届いております。

職務代理者

そうしますと、事務局のお考えは、これはこれで読んでおいてもらえばよいということですか。

主幹

ご意見がいただけた方が良く思っておりますので、ご紹介をして、さらにそれぞれのお考えのご意見をいただいて、それを含めて内容修正の方に入りたいと思っております。

職務代理者

先生もそういう意向のようですから。お二方、この二案がほとんど最終案に近い形で策定委員会としては今あるわけですから、これをちょっと読みあげていただいて、「その心は」というのを我々策定委員に分からせると。質問があれば受け答えすると、こういう形で進めたいと思いますがいかがでしょう。それでは、事務局から。

参事

この内容としては、骨子・構成案を説明してきたこの間に、前文の構成として説明してきた内容で、参加と協働を必要とする社会背景ですとか、大口町の取り組みと成果、あるいは基本的な規範としての位置づけということはこの間説明をしてきました。実はもう少し推敲を重ねて、もう少しスケールの大きいものにしたいと思っただけなんですけど、生活支援と雇用支援の事業の担当になってしまって、年末からそちらの方にかかりきりで、取りあえずつくった状態のものをお出しをして、非常にスケールの小さなものだと自分でも思っておりますけれど、そんな内容だと理解をしていただきたいと思っております。

※資料 2-2 「前文（大森参事案）」を朗読

職務代理者

何かありましたら後にしまして、委員にもお願いをしたいと思います。

委員

前回出された、主幹さんの案と中村さんの案をですね、いわゆる良いとこどりといいますか、合せて、何とか一つにできないかなということ、一緒にしたものなんですね。これは私の個人的な印象としてですけども、主幹さんの案が非常に、特に出だしの所の四季に応じた表現が詩的な感じで、柔らかい表現で、一般の方に比較的受け入れられやすいかなと思っておりました。その一方、中村さんの案は、非常に大口町の現状に対する強い問題意識だとか、それを改善していこうという気迫のようなものが滲み出していて、それをうまく合わせるのに工夫をさせていただいたんですけども、ベースとしては主幹の案をもとに、この下線部を引いたところは中村さんの案から少し表現を丸めながらですけども意図するところを私なりに汲んで含めたもの、分量もあまり長いと一般の方はちょっと読みにくいところもあると思っておりますので、ほどほどの分量の中でまとめさせていただきました。本当は主幹に読んでもらうのが良いと思いますが、代読という形で読ませていただきます。

※資料 2-1 「前文（岡田修正案）」を朗読

職務代理者

先生はこれとは無関係にファックスを送られたのか、これをまだ読んでみえませんか。

主幹

読んでみえます。

職務代理者

それで、先ほどのファックスの内容。そういうことでありますので。私自身の感想を申し上げていただきますと、本当の意味で議会議員さんのときにもありましたように、期待されているのは、10年先、20年先。首長が代替わりしても通ずるようなそういうものを期待しているよという声があったように思うんですけど、あれが一番良い意見だったかなと思うんですけど、そういうことに対して、応えられるかということが一つ。私のことを優先して申し上げてもいけません。しかし、先生がおっしゃられたように、プレであれ、アフターであれ、私が思うのはやっぱり、我々策定委員会は、こういう気持ちでこういうものだということを提示していかない限り、やはり何度も入口でUターンして帰っては、また出直してきますであつたり、上空をとんびがぐるぐる回りながらちっとも突っ込まないというような形じゃなくて。3月ですから。進んでいきたいなと私個人としては思っています。先ほど先生ファックスのご紹介がありましたので、それに向かってやっていけば良いのではないかと考えております。その他に付け加えることはありません。

※ 発言特になし

職務代理

町長の冒頭のお話にもありましたように、なかなか産業界が厳しくて、皆さん知恵を出して役場にはお金がありましたと言っていた話も少しずつ厳しくなりますよという話です。特に委員がおられる会社に私もいたわけですけど、徹夜につぐ徹夜で欧州現地生産をどうするかというのを社長の前でやらされて、最後に言った言葉は「銭はないぞ」と。最後に。だから一緒にやっていたドイツ人は、白板のペンを投げ捨てて「おやすみ」と言って帰っていつちゃった。そういうような時代に我々も経験しておりますので、このイベントだって、本当に最初で最後までならないと思いますけれど、ならなくするために、相当根性を入れてやらないといけないと思います。今日の新聞記事を見ておりますと、いろいろと企業も大変ですね。具体的に町長からは、これぐらいになっちゃうという話は、愕然としますよね。では、来年はどうかというと、来年はもっと大変になってしまうかなあと。

それでは、前文案はそういうことにして、先生のお考えもありますから。グループインタビューに。ちょっと私、先取りをしてしまいましたけれど、今日、実は先にグループインタビューをやろう、順番を変えようと思ってきたんですけど、ちょっと先取りをして申し訳ありませんでした。

〔議 題 3〕 グループインタビューについて

主幹

12月7日と10日の日に2つの団体にグループインタビューを行いました。もう一つ、桜口魂は、日程調整ができず今日に至っています。

※資料3「条例骨子・構成案に対するグループインタビュー（さくらメイト）」に基づき説明

職務代理者

名うての屈強な「さくらメイト」さんの意見ですね。実績も深いし。そういう方々が、こういうことを言っておられるんですが、これを雰囲気知らずに読ませていただくだけでも、まったく涙ぐましい意見だと思うんです。つまり、他のことは言わず、できるだけ。自分たちのこととして、言っている。例えば、地域の人にも意識改革だと言っておられます。しかし、町の執行機関の意識改革もということは全然言わないわけです。だから、私は涙ぐましいと思って見ていたんですけれど。地区懇談会もそうですが、どう読み取るかということがやっぱり大事なと思いながら見させていただきました。活動期間も非常に長く、考えもしっかりしているさくらメイトさんですから。それにしても、うまくまとまっているのが、かえって住民の参加のと言いながら、行きつく先ということにもなりかねませんので。やっぱり策定委員会では読み取りたいですよ、気持ちを汲み取りたいし、読み取りたいという気持ちを持って読ませていただきました。貴重な意見です。

主幹

※資料3「条例骨子・構成案に対するグループインタビュー（まかせてネット・まみーぽけっと）」に基づき説明

委員

レベルが高い。

職務代理者

レベルが高いですね。私はいいところりてつらつらと読みましたから意見は控えますが、どうですかこれを読まれて。

参事

さくらメイトは、昨年1月12日に1回目のグループインタビューをしまして、2回目が去年の12月7日なんですけれど、去年の1月の第1回目のグループインタビューの時には、補助金の話ばかりで、削減されたとか、削減する一方で活動しろと言われて、やれない、というようなことがほとんどだったんですけれど、この12月7日は、上から3つ目にもあるんですけれど、今までのような行政から補助してもらって当たり前という意識が根深いというような。去年の1月の時とはずいぶん違うなという感想です。

職務代理者

非常に純粋にやってみえることがよく分かります。1年半という時間が経って、懇談会もやって、いろいろと情報も伝わるところは伝わって、かなりのレベルへ、策定委員会もどっちがどうかというぐらい、成長してお見えになると思うんですよ。まかせてネットとまみーぽけっとは、意見の中に委員の声が聞こえてきそうなところがありますけれど。

委員

グループインタビューで、私も出席させていただいたんですけれど、皆さんの話を聞きながら私が感じたのは、皆さん、自分の意見ももちろん入っているんですけれど、「私はまだ分かっている

けれど、周りにいる友達なんかはこう」という、この中の意見は当事者の方たちの、意見を言われた方の難しいとかも、「子どもを抱えている主婦だったら、確かに読まないかもね」とか、自分も含めてだけど、自分はまだ活動しているから、多少は理解をしているから、だけれども周りにいる普通に主婦をやっている方とかだったらこうじゃないかなというような意見がたくさん出ていたかなと。活動している方も今は行政との関わりがあって、比較的關係がこの4～5年活動して良くなっているから感じないけれど、でも当初は感じたとか、今新しく入った方は、きつこういうふうに思っているんじゃないかというような。自分の意見だけじゃなくて、たぶん、あの方たちそう思っているかもしれないねっていう意見がたくさん出ていたというのが私の印象でした。

職務代理者

新型インフルエンザの核が見つけれられたようなものですから、ちょっと長い目で見れば、必ずそういう方々が参加しているということになるんじゃないでしょうかね。

委員

確かにいつも町長がおっしゃられるように、民で、我々のグループだとか、住民が集まってやった方がうまくいくとか、そういうこと。これは私が喋ったんじゃないですからね。そういうまかせてネットとか、まみぼは、そういう意見が自然に出てくるんですよ。嬉しいことだと思って。

職務代理者

皆様のご意見を聞くような話は大体みんな集約されてきて、要は我々がどう汲み取るか、理解するかということで条例に盛り込む内容を大体固めていきますと、私はそういう感じでおります。

委員

議員懇談会の時には、声なき声をもっと、まだ住民の2%だからと。これは何回やっても、私は物理的に不可能な面も多いですから。

職務代理者

私も住民の参画、参加、共助と言っても、それもあるところで修練してきてしまうのをさらにほんの数%でも、あれがいいというような活動のこれからが必要になると思ってやっているんですけど。難しいですよ。でもまあ、これを読む限り力強いものがあって、住民にどうのこうのという資格はありません。ということで尻切れる的になりますけれど、これで大体、リサーチ、ヒアリング、そういうものは大体終わって。後は、先ほどの前文ではありませんが、我々の世代で将来のためにどうしとくかというところが。それから、今度のフォーラム、イベントも、そう何回もできるものじゃなくなってくる可能性もありますから、力を合わせてやっていきたいと思います。

後、どう取りまとめていくかについては、先生がお休みの中で余分なことは申し上げられませんので、それぞれがよく考えてきていただくということではないでしょうか。その他で機構改革のお話がありますが。

主幹

少し説明だけさせていただければと思ひまして、資料としてつけさせていただきます。

※資料4-2「平成21年度大口町組織の機構改革」に基づき説明

職務代理者

私、ずっとこの策定委員会の活動を続けてまいりまして、いろいろ思うことが、時には深刻なこともあったんですけど、その中で一番感じるのは、やっぱり行政と住民の溝をどうするのという、どうしても浮かび上がらないけども大事な話がございます、そういう思いでいろいろと見ていると、この2~3日前、土日にやりました、NHK総合で「女と男」という、脳の使い方とか、脳の作用と同時にどういうことになったかという、家庭内の話も含めて非常に興味深い科学的な話がありまして。いずれ再放送になると思いますけれど、その一回目を見てみると、夫婦の会話がいかにして恋は3年で冷めると。その後どういうふうにしていくかという話の中で、実験を重ねて、使われている脳の部位まで調べながらやっている番組ですけど。少しでも離婚寸前の夫婦の脳分析等を行っている言葉の中にですね、この夫婦を見ていると、結局相手の話を、最初から批判の思いで聞いている。それから、制御をしようとする。特に男性側ですけど、制御しようとしている。それから、3つ目は、見下している。見下し、コントロールしよう、それから批判の目で見ていくというのが出てきまして、これは直接我々の活動とは関係ないけれども、我が家庭の話とも関わりますが、やっぱりそういうことに関連があるのではと思いましたので。また再放送があると、科学的に脳の成長の仕方だとか、使っている脳の状況というのは、皆さん見ておられた方もおみえになると思いますけれども、こういう委員会の進め方にも非常に参考になるんじゃないかと思ったので最後にご紹介しました。他になければ。いかがでしょうか。

それでは本日はこれで終了します。ありがとうございました。

■ 閉会